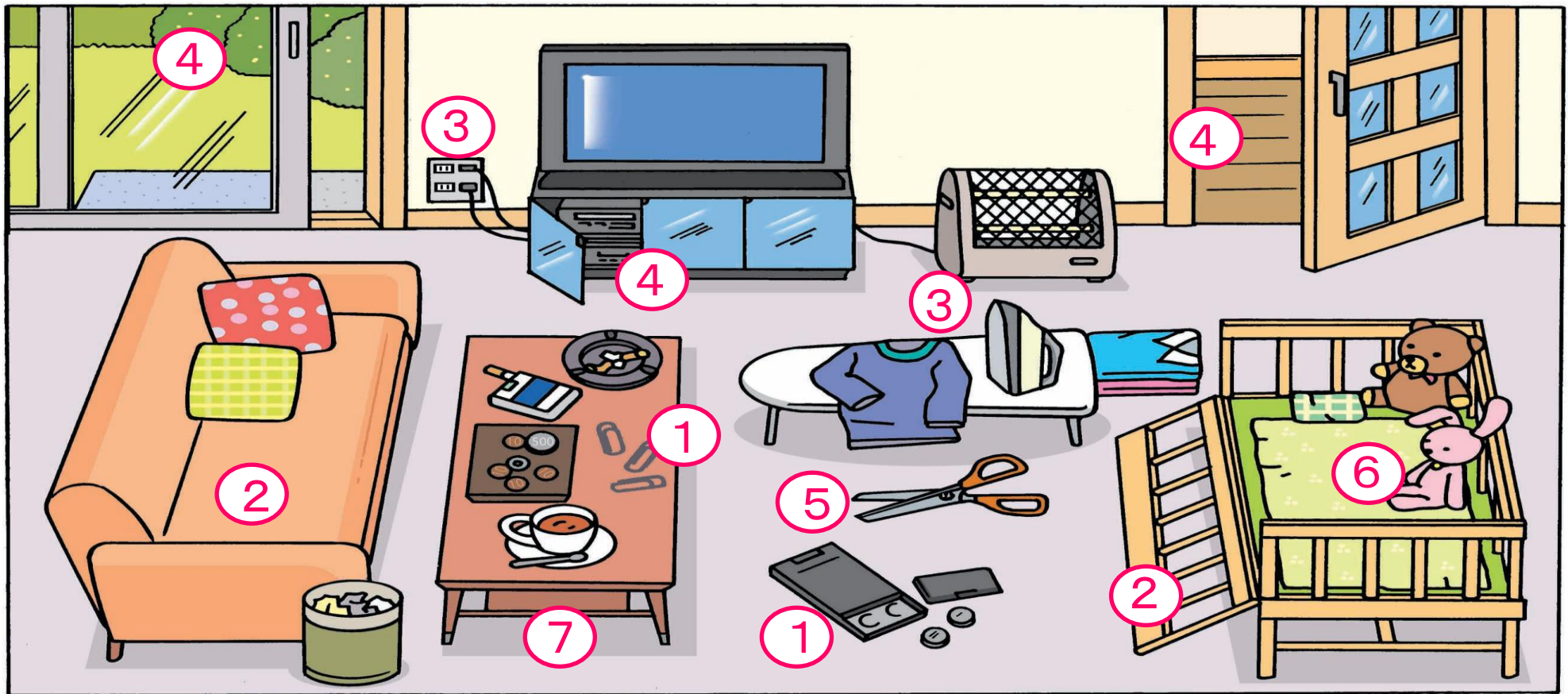


危ないのはどこかな？探してみよう！



- ① 異物の飲み込み・・・子どもの口の大きさは最大3 cmです。子どもの手の届くところには小さな物は置かないようにしましょう。
- ② 転落や転倒・・・ベビーベッドには必ず柵をつけましょう。また、ソファの上に子ども一人で寝かせないようにしましょう。
- ③ やけどや感電・・・子どもがいるところでアイロンはやめましょう。暖房器具には柵等を取り付け、コンセントにはカバーをつけましょう。
- ④ 手を挟む・・・ドアのちょうつがい側に指を挟むことがあるため、開閉時には子どもの手を確認し、防止カバーやストッパーを取り付けましょう。
- ⑤ 手を切る・・・大人が使っているものに興味を持ち真似をしたがるため、刃物は使用したらすぐに片づける習慣をつけましょう。
- ⑥ 窒息・・・ぬいぐるみやタオル等は、子どもが寝返りをしたときに顔が埋もれてしまう場合があるため、取り除きましょう。
- ⑦ 頭を打つ・・・机の角にぶつけて打撲や切り傷に至る場合があるため、角にはクッションテープ等を貼るなどやわらかいもので保護をしておきましょう。